

「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の見直しの方向性

京都市基本構想（グランドビジョン）＜2001～2025年＞
21世紀の京都のまちづくりの方針を理想的に示す長期構想

はばたけ未来へ！京プラン2025
（京都市基本計画）※大学関連部分

上位計画

大学のまち京都・学生のまち京都
推進計画2019－2023

【重点戦略】

大学・学生のまちの特性を生かした経済・文化・地域の担い手の育成

【政策分野 大学】

～大学・学生，地域，企業，行政等，オール京都の総合力を結集して，世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」であり続ける～

【基本方針】

- 千年を超えて，都市の機能・文化が継承・発展しつつ，世界にも開かれた稀有な都市「京都」で学ぶ意義を再確認し，その魅力を高めるとともに，国内外に強力に発信することで，留学生，社会人を含む多様な学生を受け入れ，これからの社会の担い手を京都から輩出する。
- また，京都のすべての大学が個性・特色を生かしながら発展し続けられるよう，大学コンソーシアム京都と連携し，大学の取組を全面的にサポートするとともに，集積された大学の知・学生の力を最大限に生かした，産業・文化の創造・発展，地域の活性化をより一層進める。

【目指すべきビジョン】

世界に誇る「大学のまち」「学生のまち」であり続けるために
～オール京都で次の社会を支える担い手を育成～

【基本方針】

- 千年を超えて，都市の機能・文化が継承・発展しつつ，世界にも開かれた稀有な都市「京都」で学ぶ意義を再確認し，誰もが学びを通じて成長を実感できるよう，その魅力を高めるとともに，国内外に強力に発信していく。
- 京都のすべての大学が個性・特色を生かしながら発展し続けられるよう，留学生，社会人を含む多様な学生の獲得をはじめとした大学の取組を全面的にサポートする。
- 少子高齢化・人口減少社会に立ち向かうため，留学生を含む学生と地域・企業とのつながりを強化することにより，京都の将来の担い手を育てる。
- 大学の知・学生の力を最大限にいかし，産業・文化の創造・発展，地域の活性化をより一層進める。

【両計画に掲げる推進施策】

- 1 京都で学ぶ魅力の向上
- 2 大学・学生の国際化の促進
- 3 大学の枠を超えた学生の活動の推進
- 4 学生の進路・社会進出の支援
- 5 大学との連携による京都の経済・文化・地域の活性化
- 6 国内外への魅力発信の強化

見直しの
方向性

連携

- ◆ 一体のものと整理し，現行の「推進計画」の期間を「京プラン」と同様に2025年までとする。
- ◆ コロナ禍や大学教育を取り巻く環境の変化など，情勢に応じた新たな施策の方向性や，既存施策のフォローアップについては，引き続き，本市，大学コンソーシアム京都，大学，学生，産業界，NPO，市民等で構成する「大学のまち京都・学生のまち京都推進会議」の中での議論や意見等を踏まえ，検討・実施していく。

大学コンソーシアム京都
中期計画